
偽物

とある科学の一方通行

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偽物

【Nコード】

N6916M

【作者名】

とある科学の一方通行

【あらすじ】

移動性ブラックホールの危機から一年。

地球防衛軍は新たな危機に備え、過去の優秀な宇宙戦士の細胞からクローンを作りだし、さらにヤマトなどの優秀な艦をコピーし地球艦隊

の強化を目指した。

そして最高傑作であるヤマトver2が盗まれ、沖田艦長をはじめとする元ヤマトクルーのクローンが行方不明になった……。古代を始めとする移民船団護衛のメンバーで捜索を行うことになっ

た。

注）作者の妄想です、原作のイメージを崩したくないという人は見るのは遠慮したほうがいいと思います。

プロローグ（前書き）

まあ、つまらないかもしれませんが、作者がババロアみたいな脳みそで

自分なりに一生懸命考えたんで、大丈夫な人はみてください。

ブローグ

地球が移動性ブラックホールでの破滅の危機から一年。

地球防衛軍はSUS艦隊での戦闘でかなりの被害を受け、艦隊だけじゃなく優秀な宇宙戦士たちもほとんど戦死してしまった・・・

地球防衛軍は新たな危機に備え、過去の優秀な宇宙戦士から密かに細胞を採取しており、その細胞から優秀な宇宙戦士のクローンを作り出すという計画を行った。

そして、宇宙戦士だけではなくヤマトなどの優秀な艦をコピーし、さらに強力にした艦を作り出した。

すべてが順調にいった。

ある日、最高傑作であるヤマトのコピー艦、さらに沖田艦長をはじめとする元ヤマトクルーのクローンが行方不明になった・・・

第1話 奪われたモノ

月面基地にある研究所が正体不明の艦隊に襲われた。
それは突然の出来事だった。

月面基地にある研究所で防衛にあたっていた月面基地防衛艦隊の司令が
目にした光景はとても信じられないモノだった。

艦内にサイレンが響き渡る。

司令補佐「12時の方向に正体不明の敵艦隊出現！」

司令「なに!？」

司令は耳を疑った、なぜなら太陽系に張り巡らしているレーダーに
掛からずここまでに
来るのは不可能だからである。

ワープするにしても距離が長すぎるし、ステルス艦ではないよう
だ。

だが、情報によるとどうやら敵艦隊は驚くほどの長距離ワープをし
たようである。

司令補佐「正体不明の艦隊が500!!」

砲門を全て開いてるから、フレンドリーな異星人ではないだろう。
しかし500と言っても地球防衛軍の総数はそれを上まり、人類の
希望ヤマトだってある。

月面基地の防衛艦隊ではとてもじゃないが勝ち目はないが、地球防
衛軍本隊が

到着したら、あの程度の艦隊は簡単に撃滅できる。もし我々が負け

ても地球にはヤマトがいる、最新の無人衛星がある、地球には指一本と触れさせないだろう。

とは言っても、やることは決まってる。

司令「援軍が到着するまで月面基地で敵を食い止める。全艦戦闘配備！！主砲発射用意！！」

敵艦隊が砲撃したと同時に

司令「発射ーーーーー！！！！」

発射の合図とともに防衛艦隊の戦闘は始まった。

防衛艦隊は善戦している、むしろ防衛艦隊で撃退できそうぐらいだ。

しかも、司令はトドメとも言える命令を下した。

司令「主力戦艦隊の半数は拡散波動砲発射用意！！そして残りの半数はホーミング波動砲で

敵の残りの部隊を片付けろ！！………発射！！」

拡散波動砲は敵の部隊を包み込み、無数の光弾で敵の艦隊を貫き、ホーミング波動砲は

それから逃れた艦に容赦なく襲いかかる。

司令補佐「司令、敵艦隊は全滅したようです。」

司令「うむ。」

司令は少し喜びを隠せてない顔で頷いた。

しかしその顔は絶望の顔となる。

司令補佐「司令！！敵艦隊と交戦中に同艦隊と思われる部隊に研究所は襲撃されました！」

司令「なに！！研究所の被害は？」

司令補佐「ヤマトクルーのクローンと新型ヤマトが敵艦隊とともにワープされ奪われたようです………」

司令は言葉を失った。

第1話 奪われたモノ（後書き）

つまらない文章ですみません。

まあ、暇な時にでも読んでください・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6916m/>

偽物

2010年10月8日22時25分発行